

事業所職員向け 令和7年度 放課後等デイサービス自己評価表

数値は%

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか。	58	35		7	職員が課題を行う際は行き来しやすく全体を見れるが、子ども達の遊びの際は狭そうに感じる。
	② 職員の配置は適切であるか。	65	35			基準より多く配置している。 児発と放デイの来所人数によって差がある。 職員の急な休みや子どもの状況によっては不足とを感じる時もある。 平日に送迎で出ると職員の人数が少なくなってしまうことがある。
	③ 事業所に設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	58	35		7	視覚的支援を活用している。 先生方で話し合い教室の環境設定はしているが構造上 難しいところもある。
	④ 生活空間は、清潔で心地役過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	65	28		7	職員同士で工夫している 日頃の環境は綺麗にするよう心がけている。 毎日の清掃と環境設定は見直している。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDACサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか。	58	21		14	放課後等デイに特化した会議で意見を交えることができている。
	⑥ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	79	7		14	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100				ホームページで公開している。
	⑧ 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	93			7	埼玉県研修、事業所内研修を定期的に行っている。 研修に行きやすい環境になっている。 事業所内研修の他、県や市主催の研修にも参加しやすい環境である。 定期的に研修をしている。

適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成	93			7		
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るため標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	42	44		14	自分自身、把握しきれていない箇所があるので確認していきたい。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	86			14	毎月会議を行なっている。 定期的に話し合いをし行えている グループワークの職員がプログラムを考えるようになった。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか。	65	35			意見を出し合い共有する事でレポートを増やしている。 出来るだけ色々なことをしているが曜日次第ではできないことが多く難しい。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	65	28		7	平日に出来ない事を長期休暇などに行えるよう日頃から積極的に準備している。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか。	79	14		7	保護者の要望や子どもの状況に応じて対応出来ている。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	72	21		7	朝礼を必ず行っている。 グループ課題で何をするか、どう過ごすかを職員で話し合いながら決めている。 毎日朝礼にて確認している 月に一度は会議をして話し合っている。	
	⑯	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援振り返りを行い気付いた点を共有しているか。	65	21	7	7	早急に対応するべき事は出来ているが時間の関係で一週間をまとめて振り返る場合もある。	
	⑰	日々の支援に関して記録をとることを徹底し支援計画の検証・改善につなげているか。	58	42			毎日の振り返りを手帳に記入している。 連絡帳で記録している。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	86	7		7	確認していない為 気になったり分からなかったりする部分は他の職員の方に聞きたいと思う。 定期的にモニタリングを行い、見直しをしている。 年二回は行うようにしている。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	58	21		21		
	関	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	44	21	7	28	会議の開催はあまりないが電話にて情報共有を行なっている。
		㉑	学校との情報共有（年間行事・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	72	21	7		こちらの年間行事やお知らせはお渡しできていないので考えていく。 学校側のは把握できているが、こちら側のは提示していない。 学校によってはできていないところもある。 小学校へ訪問をしている。

係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	②②	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	30	28	14	28	実績があまりないが連携に努めていきたい。
	②③	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	35	28		37	実績があまりないが移行の際は連携に努めていきたい。 今は対象者がいないため提供はしてないが、その際は情報を提供すると思う。 対象の子どもがいないが対応できるようにしたい。
	②④	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	58	14		28	越谷市の研修に参加している。 県の研修は皆さん積極的に参加されている。
	②⑤	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	21	14	44	21	放課後デイの子達が公園で居合わせた障害のない子ども達と楽しそうに駆けっこや鬼ごっこをした時があったので、そのような素敵な機会は増やして良いと思う。 公園や児童館に行くことがある。 交流がまだ少ないので児童館に行く機会をもっと増やせるといい。
	②⑥	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	7	14	35	44	機会があれば参加したい。
	②⑦	日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	93			7	お迎えの際や電話、連絡帳にてお伝えできるよう努めている。 連絡帳や口頭で普段の様子を伝えている。 保護者と話をする機会は少ないが子どもの受け渡しの際に伝えている。 モニタリングや送迎時に伝えられるよう心掛けている。
	②⑧	保護者の対応力の向上を図る観点から保護者に対して家庭支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか。	28	28	21	28	今後行っていきたい。 本格的に行えるように出来たらいいと思う。
保 護	②⑨	運営規定、利用者負担について丁寧な説明を行っているか。	86			14	契約の際に丁寧に伝えていいると私は思う。 入所と児発から放デイに上がる際は説明をしている。 契約の際に説明してると思う。
	③⑩	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	93			7	職員で共有して対応している。
	③⑪	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	72	14		14	定期的に保護者会を開催している。 努力はしているがまだ保護者同士の連携は出来ていないと思うのでイベントなどを工夫したらいいと思う。 交流会を開催しているが人数がなかなか集まらない。
		子どもや保護者からの相談申し入れにつ					

保護者への説明責任等	③②	いて、対応の体制を整備するとともに子どもや保護者に周知し相談や申し入れがあった場合、迅速にかつ適切に対応しているか。	79	14		7	
	③③	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	86	7		7	月一回のお便り、インスタグラム、ブログにてお知らせしている。 Instagramなどで発信はしているが見て頂けているかは不明。
	③④	個人情報の取り扱いに十分注意しているか。	86			7	
	③⑤	障害のある子どもの保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	86			7	
	③⑥	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	79	7		14	地域の方向けの行事を定期的に開催している。夏祭り行事で実施した。 参加者が少ない事もしたくさん来てくれても個人情報や防犯面が気になる。 イベントの際に参加出来るようにしていた。
	③⑦	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか。	79	21			ホームページでの公表や研修などでの周知をしていく。 出来ているが全員は周知出来ていないと思う
適切な支援の提供	③⑧	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	93	7			定期的に行っている。
	③⑨	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100				年間で数回研修を行っている。
	④⑩	どのような場合にやむ負えず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で放課後等デイサービス計画に記載しているか。	86	7		7	核当者はいないが研修は受けている。
	④⑪	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	93	7			アレルギーの有無を確認しおやつの持参などをお願いし対応している。 アレルギーの児童には食べ物を提供しないようにしている。
	④⑫	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	100				毎週の会議で共有できるよう努めている。 終礼時に共有し記録に残している。 ヒヤリハットを記録している。